



小原田小学校だより

【教育目標】心身ともに健全で正しい判断力を持ち、自主性・創造性に満ち、心豊かなたくましい児童の育成

○すすんで学習する子（知） ○思いやりのある子（徳） ○たくましい子（体）

第11号 令和2年6月15日発行

学習の様子から



4年生では、国語科「アップとルーズで伝える」の学習に取り組んでいました。筆者の考えをまとめ、次にそれに対する自分の考えをまとめる学習を行いました。国語科では、筆者の考えを要旨や主題として理解することが重要です。そのために、文章と文章のつながりを考えたり、段落ごとに内容を読み取ったりします。そして、最終的には、「自分の考え」をもつことが求められます。「読解力」が話題になることが多々あります。文章を正しく理解し内容を把握する力は、日々読書の量と質を向上させることとともに一つ一つの教材から丁寧に学ぶことで向上させることができます。

す。きっと、4年生の子どもたちの読解力も向上していくものと思います。

5年生では、音楽科で鑑賞の学習を行いました。モーツァルト作曲の「アイネクライネナハトムジーク」を楽器や旋律等、聴くポイントを明確にして鑑賞することができました。子どもたちの気付きや感想では、「弦楽器の音色は、『家族』として見るととても分かりやすく、バイオリンはとてもわかかわかしくて、ビオラは少しわかかわかしく、チェロは少し大人になった感じでコントラバスは「ざ大人」と思いました。」「わたしは、この家族は楽しい家族だと思いました。知らないところに行ってきれいな青空と色とりどりの花が咲いている場面が思い浮かびました。」等があり、しっかり鑑賞できていたことが伝わってきました。

6年生では、算数科の分数の計算について、パソコンソフト「ロイロノート」を活用して、友だちと考えを共有しました。友だちの考え方を自分なりに理解しようとする、そして言葉で説明することはとても有意義な学びです。そこから、複数の考えを比較検討してよりよい考え方を選択したり、よりよい新たな考え方を構築したりすることにつながります。6年生らしく、真剣に考えることができていました。

1年生は、算数科でたし算を学習しました。式を立てる、ということの第一歩です。問題を読んで、何算になるかを考え、「+」や「=」などの記号を理解して立式する、という算数科の基本の学びです。これは、今後、分数や小数等、複雑な計算の基礎となる大切なものです。子どもたちは、ブロックの操作をしたり絵を頼りに考えたり、一生懸命に学習することができました。

2年生は、長さの学習を行いました。教科書のたてやよこの長さをものさしを使って正しくメモリを読み取りました。「○cm○mm」と、記号の理解とともに学びを深めていました。友だちと答えを確かめ合ったり、進んで身の回りの物の長さを測ったりする姿を見てうれしくなりました。

3年生は、書写の学習で毛筆で「土」を書く練習を行いました。筆順や横画の長さ、そして筆の持ち方や筆の動かし方など、毛筆学習の入門期に大切な基礎基本を真剣に学んでいました。多くの子どもたちが、堂々とした文字を書くことができました。毛筆の学習で学んだことを鉛筆で書く時にも活かしてほしいと思います。

わかばとたんぼぼの学級では、紙芝居を真剣に聞いたり図工の飾りを自分のアイデアをいかして丁寧に作ったりすることができました。また、教師の助言を聞きながら、プリントを使った学習にも真剣に取り組むことができました。正解するまで何度も考える姿に成長を感じました。

1学期に授業参観を行えない状況です。しかし、学校再開後、子どもたちの学びの姿は日に日に成長しているように感じます。保護者の皆様には、ノートやプリント、テスト等、学校での学習の足跡を見ていただければと思います。

